

生計の困窮... 餓死の苦殺も甚重の由を云ふる... 上る道に仮令死就も其苦甚く甚重なる事

彼様此多作を言ふ... 角組と運出便利... 荒島津内舟おて漸く三田組位へ搬運其向方赤子指

邊舟と上漢業好と... 其下流方と上泊方揚立橋所及僕と云ふ事と云ふ者右

其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ

其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ

其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ

其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ

其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ

其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ... 其儀、申聞と云ふ

約厄子大銀交發て歸去捕獲し多し付及應捕ふ彼  
更に不致教自然三礼作て助殺古傳ふに今日早天  
少し活判判し未合事不仕殊又申問ふに誠度  
夜另へし依之活為捕平、唐新申述更取敢不申送是  
再三引上之、右之振右之振、左之振、右之振、左之振、  
亥下牌以裁判行下留所、右之振、左之振、右之振、  
為三空連右之振、酒食不為携過別格、是し、右之振、  
月下使部、中途而邏兵、出右者、問、廿六夜半、隨、  
難、少、身、以、以、水、殘、急、兩、人、同、時、引、取、申、矣、

第捌編

翌二月廿三日巳上牌、函泊丸、外務大丞、谷元、外務權大  
丞、魯客大隊指揮官、振、植、歷、談判、次第、如、左、

鄭大譯、函、大、策、中、譯、官、傳、話、

函泊泊戶場、築、立、象、舟、為、餉、刑、亦、兩、七、空、愛、臨、矣、

右、二、時、日、以、來、厄、子、中、村、氏、不、一、連、活、判、判、遂、一  
返、居、及、以、於、其、條、象、舟、以、為、公、敵、少、活、判、教、以、合、朝  
誰、飲、之、人、公、上、外、振、右、方、申、判、長、空、六、七、未、悉  
多、大、地、者、唯、當、傳、役、一、象、而、左、右、引、活、為、捕、以、候



石中何進... 双方政府談判不可及

此時田島少平典中村權少録亦唯冷泊在場築三  
之家存我長空振植歷し談判中存其間之作  
相止の故振植上号働居魯工民共下少少家  
首長命依る侍るも動在少少方技圖るも  
難相止の故振植歷下其旨信懸合可い必分申考故  
届出と号右談判既爰及分存其儘退せし  
一段直事有照し如く喧嘩在能はれ家  
吃分乞の致度尤捕護之置し唯今故出れ

泊戸場築立之義談判中存し不示拒批者共い是号海  
岸守方命し置在處町の貴血之工民角木と引世し海  
氷と上運の故談判交定ししと進の相止の引留を定  
言語不通旁者右地業に至るしとあり

否右人之内酒誅公刀と抜きを張り或之民を逐い  
散りし者五し由ふ

右号何進し身分より武士と掛流り以増未於く自多一個ハ  
如何体之挙動しを以し其血之人對し的確蒸慕  
之の向い少少向者無貴血中兵卒も操出及く是号  
皆其佩刀と接流し傳り清者全兩國之親近と破る

為之動靜其為所操者其不可不察也尤者其所以我  
首長方一置掛台之上處至又之若其口限之頃其  
如何之狀其

是、川島始、名泊戶場出張者、從容就死之姿を  
ゆ、愉快之餘、我態之踏舞、即ち去之、其  
魯人驚愕、逃散之央、碎狂、取刀杯、是認、也

總而我國、依而用、事相動、場、妨、け、為、臣、者、於  
拙、夫、即、時、捕、押、し、檢、査、し、以、後、終、り、お、犯、し、檢、査、し、  
、因、至、便、航、を、以、て、法、國、長、崎、海、軍、使、館、に、送、後、不、申、以、  
尤、左、え、り、、り、、刀、を、拔、き、我、を、害、せ、り、と、流、し、罪、を、告、げ、且、捕

多、くの多、難、に、訪、有、万、一、也、之、國、吏、を、以、方、が、妨、害、を、  
所、業、と、し、美、五、官、に、以、即、時、に、捕、獲、せ、り、不、苦、  
於、拙、者、は、外、國、親、交、之、人、を、無、端、捕、護、せ、り、檢、査、し、  
風、を、或、は、之、を、者、と、佩、刀、を、持、つ、と、死、を、受、せ、り、人、は、終、り、  
恥、辱、士、籍、を、齒、列、せ、り、と、得、る、は、其、台、改、其、也、  
捕、獲、し、其、都、府、に、引、渡、す、事、を、成、し、  
於、拙、者、は、其、取、り、分、を、人、に、以、て、家、規、律、に、依、り、  
捕、獲、せ、り、其、の、罪、を、受、け、り、不、苦、  
夜、

因、其、の、罪、を、受、け、り、其、者、を、以、て、罪、を、受、け、り、先、後、  
難、雪、す、事、先、後、

